

種別： 男子 **大会名** 平成18年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会
 第41回全日本高等学校男子ソフトボール選手権大会 **試合番号** 39

試合日：平成18年8月7日	第 3 日目	第 3 試合	準々決勝	大阪府寝屋川市	南寝屋川公園市民グラウンド
開始時間	15時30分	終了時間	17時27分	中断時間	試合時間
(球 審)	森 和弘	(一塁塁審)	土江 広之	(二塁塁審)	土師 秀知
		(三塁塁審)	宮崎 節夫	(副 審)	田中 武

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	安打	失策
清風南海高等学校 (大阪)	0	0	1	0	0	2	0	3							6	6	0
九州産業大学付属九州高等学校 (福岡)	2	1	0	0	0	0	0	0							3	6	2

チーム名	投 手	捕 手
清風南海高等学校 (大阪)	高田 一平・山田 昌樹	小林 大輝
九州産業大学付属九州高等学校 (福岡)	岩田 守	森 啓

チーム名	本 塁 打	三 塁 打	二 塁 打
清風南海高等学校 (大阪)		戎野 和之	塩見 和之
九州産業大学付属九州高等学校 (福岡)	本田 竜優	野中耕太郎	

(戦評) 清風南海高等学校接戦を制し準決勝へ！！

清風南海は6回に戎野、柿本の連続ヒットでチャンスを作り、四番塩見の二塁打で同点に追いつき、タイブレーカーに入った。8回戎野の左越三塁打でまず1点。四球を挟み、四番塩見の二遊間のヒットで2点を追加し、試合を決めた。

九州産業大学付属も初回、先頭バッター今泉がバンドヒットで出塁し、四番本田のレフトオーバーのホームランで2点を先制。続く2回にも野中の右中間三塁打でチャンスを作り1点を追加したが惜しくも敗れた。

清風南海は好守とリリース山田の好投で準決勝にコマを進めた。



公式記録員 杉谷 民治
 戦評記載者 藤田 紀世